

2013年5月 13日 (月曜日)

延々と続く養殖いかだを右に見てひたすら牛深を目指します。



暇なので洗濯でも。



18時牛深入港

海の駅浮き栈橋へ着岸。写真は海の駅栈橋、

遅いせいか係員がゼロ。

明日朝9時オープンとか、これでは停泊料が

払えません。



## 泊地情報

海の駅は3, 4台の駐車場に小さなプレハブ事務所が建っているだけ、名前負けです。

牛深本港は、岸壁檣付けが基本のようです。

漁船の出入りが激しくゆっくり休めそうにありません。

海の駅からすぐのフェリー売店、トイレは

運行時間外嚴重に施錠されています。

唯一の欠点は温泉。距離で5~6キロあるそうで

徒歩では無理とか。



特筆すべきは海の駅棧橋横にあるガソリンスタンドのオヤジさん。補給のため燃料給油のお願いに行くと、笑顔ですぐにミニタンクローリに乗り、棧橋にかけつけ給油。さらに「ヨットじゃ行動に困るだろう、自転車使っていいよ」と気前がいい！「困ったことがあったら携帯に電話を」と至れり尽くせりです。しかし、スタンドにいるオヤジさんの弟さんは真反対。自転車を返しに行くと不機嫌そうに、あごで場所を示し「おいといて」とそっけない。すこしガッカリでした。

ハイヤ大橋や町の散策を一通り終え、棧橋横の鮮魚店で買ったイカの刺身とカワハギの味噌汁で夕食をとり、全員が初上陸の甌島の話で盛り上がり、温泉なしのため、今航海はじめてKANALOAの温水シャワーを浴び健やかな眠りに。

### 「牛深」情報

係留	浮き棧橋	海の駅棧橋 2000円 17時以降無料
水	無し	棧橋にホース
陸電	無し	
燃料	可能	スタンド有、棧橋まで車が付けられる
トイレ	公衆トイレ	歩いて1分洋式、フェリー待合所は早朝、夜、施錠
風呂	温泉	遠い タクシー
飲料水	購入可能	スーパー歩いて5分
食料品	購入可能	
酒	購入可能	

2013年5月 14日(日曜日)

天候 晴天  
風 南東 2  
波 0.5m  
目的地 甑 里港  
距離 32.8NM

7:30 牛深港を出航。

さあ、甑へいくぞー！といったものの今日も

風に見放され、また機帆走。

甑手前の離れ島が見え始めたころようやく

風が上がり、つかの間のセーリング。



里港が見えてきました。



唯一沖から遠望できる建物が温泉ホテル甑島館。

13:00 里港入港

停泊場所を探すためまずはフェリー岸壁側へ。

観光船ポンツーンは大型漁船と観光船が着岸していたため、観光船側に抱いてもらおうと近づくと岸壁から関係者か？手を振りNOの合図。情報では漁船溜まりに案内してくれるとのことでしたがそれも無く、なんか冷たい雰囲気。

仕方なく、商工会に海上から電話。

一等北側、漁協のある船溜りを指

示され、赤丸に入港着岸しました。

赤線は航跡、ここは横付けOKとの

ことで停泊することとしました。

### 【泊地情報】

トイレは商工会の裏と甑島館。

温泉は甑島館、スーパー

観光船ポンツーン

フェリー棧橋

レンタサイクル、バイク

ここは槍付け、水深は浅い



早く着いたため自由行動。各自でんでバラバラに電動自転車、バイクで観光地めぐり。ホテルにはコインランドリー、フェリー待合には食堂もあり快適。これで浮き桟橋があれば申し分ないのですが…。



岸壁が高いのでクライミング用のアブミを取り付け。

いやー、念のためと思い持ってきたのは

正解でした。

バイクで見て回ったのですが、両港とも泊地

の条件は悪そうでした。



2013年5月 15日 (月曜日)

天候 晴天  
風 東北東 4  
波 1m  
目的地 甕 手打ち  
距離 21NM

8:30に里港を出航。

甕にしかない焼酎を買うために酒蔵のある

下甕島手打ち港へ。

13:00時に下甕島の手打ち港に入港。



フェリーの運航はなくなっていて、岸壁は岸壁用コンクリートブロックが占領。まずはフェリー岸壁に着岸、停泊場所を探しに。それにしても岸壁の高いこと。

歩いて 50mくらいで漁協があり、地図には無い浮き棧橋がありました。

漁協の人に聞くと、浮き棧橋までに浅いところがあるのでヨットは無理だろうとのことでした。その他、見渡しても停泊場所は無く、そのまま停泊することとしました。

アブミ無しでは上陸できないほど  
高い岸壁。

フェリー岸壁



町は寂れています。小さな店が近くにありません。  
観光は武家屋敷と歴史資料館、行っては見た  
けど……。

焼酎！！ありました酒蔵、吉永酒造。

甌州、五郎、亀五郎、試飲OK。

甌州、五郎、亀五郎は島外でも買えるとか。

「ここでしか買えないのがあると、はるばる福  
岡からヨットで来たんですが」というと、しやれ  
たブルーの瓶を指差し「じゃーこれです」。

“こしきおと姫”でした。



焼酎の写真は吉永酒造のPR写真から引用していますが、私たちが買った乙姫は透明なブルーの瓶でラベルも違っていました。航海記など書く気が無かったので、味もラベルも記憶のかなた、写真も無く、ごめんなさい！



### 【泊地情報】

トイレ無し、風呂無し(民宿はあるみたい)、フェリー待合所は閉鎖施設されていますが外の水道は生きていました。

明日、笠沙恵比寿にある温泉を夢見て焼酎食らい早寝です。

この湾にアンカーを打ってヨットが停泊していたことがあったそうです。

武家屋敷



「里」情報

係留	漁協側船溜り	漁協に連絡 岸壁高い 引き波うるさい
水	なし	
陸電	なし	
燃料	なし	
トイレ	2箇所	商工会、甌島館
風呂	甌島館	500円
飲料水	購入可能	近くにスーパー有
食料品	購入可能	
酒	購入可能	
その他		レンタ サイクル 500円、バイク2時間2000円

「手打」情報

係留	フェリー跡	岸壁非常に高い 引き波うるさい
水	なし	
陸電	なし	
燃料	なし	
トイレ	遠い	歩いて10分バス待合所
風呂	なし	民宿に泊まればOK
飲料水	購入可能	近くに店有
食料品	購入可能	近くに店有
酒	酒蔵	甌にしかない焼酎有
その他		

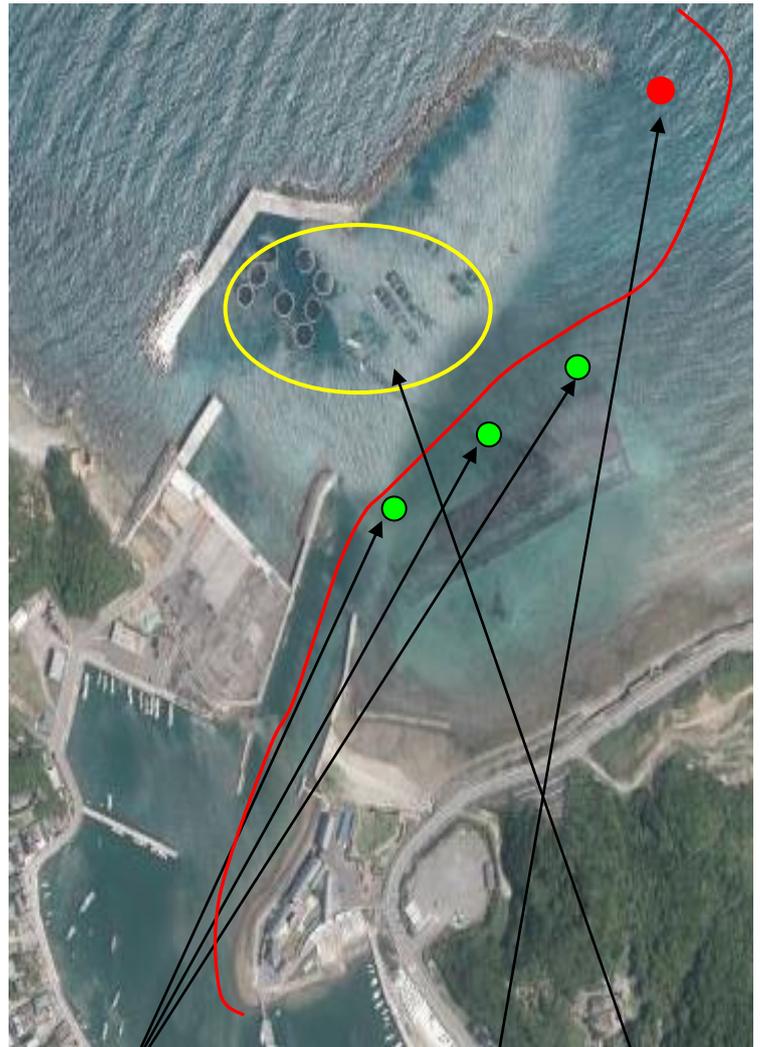
2013年5月 16日 (火曜日)

天候 晴天  
風 東北東 4~6  
波 1~1.5  
目的地 笠沙恵比寿  
距離 25NM

6:00手打港を出航。  
今航海ではじめて100%セーリング  
です。快調に飛ばしていくと、鳥山が！  
そして、イルカが姿を現した。

少し離れた所を3匹！2匹が潜っ  
ては斜め前を横切る。さらに、右舷すぐ  
横を1匹が！

イヤー愉快、爽快！！でも、揺れる  
ヨットの上で動くイルカの姿は撮影で  
きませんでした。



鉄柱色は剥げてて黒っぽい 赤の浮灯標 生簀

12:00 野間池港に入港準備。

※ 浅いので要注意の情報あり。満潮時(10時29分)を意識して入港

赤の浮灯標を右に見て野間池に入港。微速前進よく見ると前方に鉄柱が、立標かな？  
鉄柱の左側に瀬らしき物が透けて見えます。右側には生簀が。鉄柱寄りを(10m位)通り、  
水深を見ると浅いところで3mでした。夜の入港は鉄柱が灯標でないと危険です。

吉岐の湯元は立標をライトアップしていますが、ここはどうかな？

5日間も居たのに、夜は飲んだくれて調査不能でした、あしからず。

見えてきました笠沙恵比寿の浮き棧橋

12:30分着岸。

【泊地情報】

ここは1泊1艇 2000円+お風呂代  
一人660円がいますが、風呂入り  
放題、水使い放題、ゴミ出し放題で  
最高です。手打ち港からすると天国！



海蓮

KANALOA

やっぱり浮き棧橋がいいナァ！！水、陸電  
あります。でも燃料は手で運ばなければなり  
ません。(実際に補給はしてませんが)

ここ海の冒険館は教職員の福利厚生施設みたいでした、平日は閑散としていますが土・日は  
賑わっています。近辺にはこれといった観光地もありません。

漁協棧橋は平日、定置網その他で漁船が使っており日曜日以外着岸は難しい。

小さな農協スーパー(徒歩10分)

海の冒険館の棧橋利用者等の洗濯場

(上の写真黄色丸 )

18日に大阪から駆けつける仲間待ちです。

でも18日から天候が崩れそう、硫黄島への出航はお天気任せ。何日間の逗留になるか分かりませんがここならOK、快適です。

散策していると漁協が騒がしい。連られて足を運ぶとなにやらエビ漁の船が入港、それを直接買っている人が集まっているみたいです。無論すぐに仲間入り。エビはこの名物。ひげ長えび1kg2500円、刺身に塩焼きに頭は味噌汁とエビ尽くしの夕食でした。これまた、写真なしです！

ひげ長エビ、正直な感想、旨味がいまいち。生食より塩焼きがいいかな！

天候がくずれ長引く逗留に、鹿児島や加世田にバスで行く者、KANALOAで読書とさまざまです。この逗留の間、奄美から来たケッチを横に抱いたり、硫黄島、屋久島へ同行する大村のヨットが浮棧仲間になったり、笠沙恵比寿は人気があるみたいです。

快適とはいえ5日間は長かった。天候もやっと回復、明日硫黄島へ向け出航です。



### 「笠沙恵比寿」情報

係留	浮き棧橋	1日2000円 海の冒険館
水	あり	
陸電	あり	1日 500 円
燃料	あり	
トイレ	あり	海の冒険館
風呂	あり	1日 660 円海の冒険館
飲料水	あり	農協ストア有 日曜休み
食料品	あり	農協ストア有 日曜休み
酒	あり	甑にしかない焼酎有
その他		レンタサイクル 2時間400円 洗濯機有り

2013年5月20日(土曜日)

天候 晴天  
風 西、西南西 1~6  
波 1~2  
目的地 硫黄島  
距離 45.5NM

5:20分 満潮時に笠沙恵比寿を出航。  
水深が浅いのでこの時間です。ブルー  
が入港時の航跡、赤が出航時の航跡で  
す。黄色の海域は定置網が多く安全第  
一のKANALOAは回避。

今日もまた風が無く機走。野間半島が後方に姿を  
消したころ、海の色が違います。暫くすると硫黄島  
か！

海上の一点に小さな雲の塊が、その下に島影。近  
づくに従い頂に雲をいただくその勇姿がくっきりと。  
九州一周のメインが今そこに。ただ入港するにはも  
ったいなく、昭和硫黄島へ変針、海上から硫黄島  
観覧。「あれが坂本温泉かな」などと皆のテンション  
も最高潮です。



海から望む坂本温泉



## 硫黄島入港

12時いよいよ入港です。しかし、事前調査と違い、地図や写真には無かった沖防波堤があります。少し不安が。

九州一周出航前に調べた限りでは、三島カップ用にヨット用の浮き棧橋があるとのことでした。しかし、港の地図、写真には載っておらず。まあ行けば分かるだろうと高をくくっていましたが。

今もほとんどがこの地図  
沖の防波堤は表記されていません



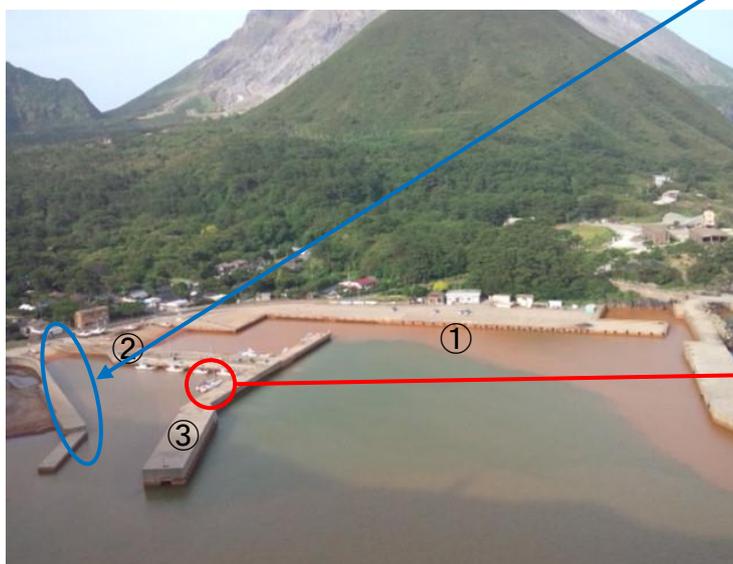
われわれが撮影した硫黄島港



入港して湾内を見渡しても浮き棧は見えません、③の防波堤は陸地との距離がなく海側から見ると、とても入っていきそうになくフェリー岸壁①に着岸、上陸して徒歩で見て回ることに。

それぞれの防波堤が高く、海上のヨットからは見えませんが②地点まで徒歩で来ると浮き棧橋が確認できました。

③の岸壁を回り込み岸壁に沿いながら浮き棧橋へ。対岸は浅いので要注意！





写真のように浮き桟は小さくKANALOA1艇で一杯。遅れてきた大村のシェリーを横に抱き停泊です。三島カップのときは数十艇が停泊、賑わうそうです。

島内は意外と広く徒歩での観光は無理。そこで1名が民泊して民宿の車をレンタル、島内観光と温泉めぐりへ。



坂本温泉は写真より汚く、入浴断念



残念なことに坂本温泉は入る人もないようで更衣室も悲惨な状態。



硫黄岳はすばらしい景観です。島沿いの海面はいたるところ温泉が噴出しているのかいろんな色をしています。

中尾温泉は素晴らしい！！



ただ、初日は一番上の湯壺から、下の湯壺に流れる湯量(温度)調節の栓(木の棒)が抜かれていて、熱くてゆっくりと楽しめませんでした。ここは港から海沿いの道2Km程度、歩いていけるので次の日も挑戦、存分に温泉を堪能しました。温泉からの帰りは道の両端の竹ノ子林で大名竹を採りKANALOAへお土産。

この時期は大名竹を築地市場に卸すため、家族総出どころか島を出た家族も里帰りして竹の子取りです。島内放送で市場からの催促があるので出荷量を増やすようにとの放送が！！島一番の特産物みたいです。

防波堤からはカンパチや5キロのアラもつれるとか。餌はサビキで釣れるベイトの小アジです。大物狙いで挑戦したものの、ラインをぶち切られたのが2回、1メートル越えのダツとヤガラしか釣れませんでした。

もう一度ぜひ訪れたい島です。

22日8:00 屋久島に向けて出航です

【泊地情報】

トイレ

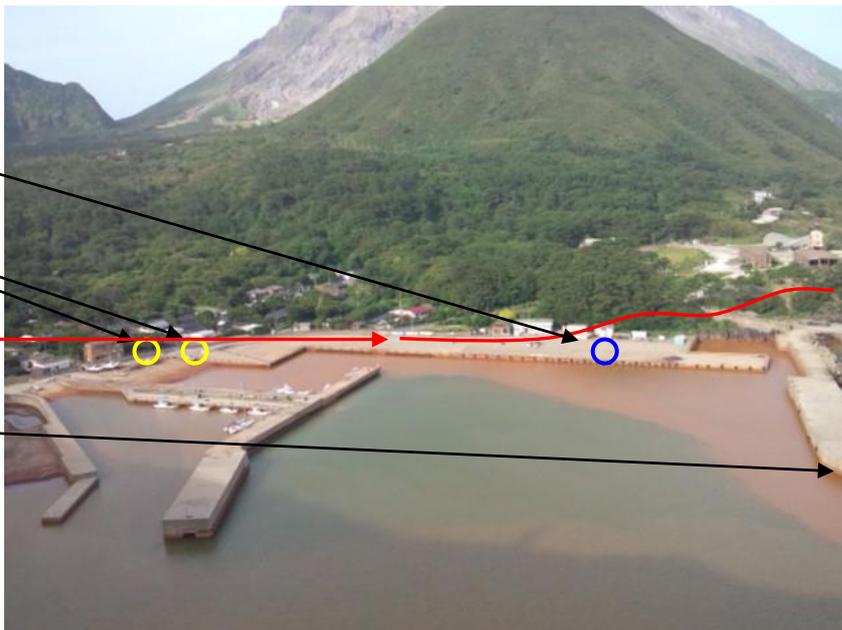
お店

お風呂 公営温泉

中尾温泉への道

大物が釣れる岸壁

手前のお店で三島焼酎を販売  
していましたが？ほんとに三島  
で作っているのか疑問です？



「硫黄島」情報

係留	浮き桟橋	
水	なし	
陸電	なし	
燃料	なし	
トイレ	あり	公衆トイレあり 和式 24時間
風呂	あり	公営温泉 風呂は火木土
飲料水	あり	ストア有 日曜休み 最低限のものしかない
食料品	あり	
酒	あり	
その他		

ごみ 全てだめ

レンタカー 半日4千円 ガジュマル 6千円2食付

携帯 ドコモのみ通話可能